

かんまき 社協だより

第6号

発行者
上牧町社会福祉協議会
〒639-0214 上牧町上牧 3245-1
(上牧町保健福祉センター内)
TEL 0745-76-6098
FAX 0745-79-2021

平成14年7月1日

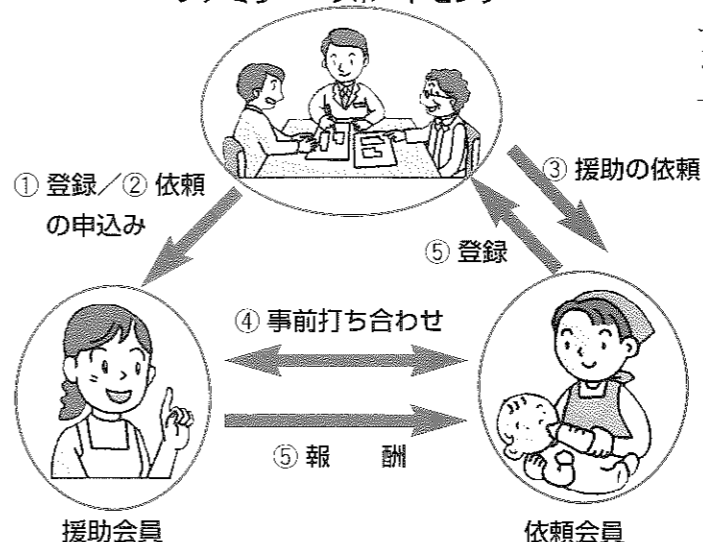
(4)

子育てを考えて みませんか?

今、子育て支援が盛んに言われています。子育てに祖父母の協力が得られない、お母さんが自分自身の時間を得たい等子育てに関するニーズは大変多いことと思います。

社会福祉協議会では、将来的にファミリー・サポート・センターの設立が出来たらと考えています。ファミリー・サポート・センターとは、「子供を預けたい方」と「子供を預かっていただける方」が会員となつて、一時的な子供のお世話を有料で行うシステムです。(図参照)

ファミリー・サポートセンター



け育児卒業ママ、かなりベテランママにお受けいただき子育て中のお母さんを地域みんなでサポート出来たらと思つています。ねえ、先輩ママ!子育て中の貴方はいきいきしていませんか?輝いていませんか?次回の社協だよりで養成講座を詳しくお知らせいたします。

ボラたん協力店が増えました

6月より発行を始めましたボラたんですが、この号が出る頃には第2号が協力店の店頭に並んでいることと思います。社協だよりなどでもお願いした結果、先月よりも数店ご協力いただけるお店が増えましたので、確認の意味を込めてもう一度全ての協力店をお知らせいたします。

★協力店一覧表★(順不同)
デイリーストアー桜ヶ丘店
ファミリーマート上牧桜ヶ丘店
サークルK片岡台団地店
しまむら
キリン堂
ローソン上牧服部台5丁目店
すし処函館市場
バーミヤン奈良上牧店

ボランティア基金へ ご寄付 ありがとうございます

平成十四年四月分～五月分

上牧町社会福祉協議会では、町内のボランティア活動を支援するため、ボランティア基金を開設しています。

今回、左記の方々よりご寄付をいただきました。

皆様からいただきました金品は、地域福祉事業に活用させていただきます。皆様のご寄付に対し厚くお礼申し上げます。なお、頂きましたご寄付は、所得税法上の控除の対象になります。ご寄付ありがとうございます。

氏名	種類	備考
友が丘友愛会	金銭	一円募金
片岡台一丁目明朗会	金銭	一円募金
片岡台二丁目ふき会	金銭	一円募金
びんぽ	金銭	

上牧町ボランティア連絡協議会総会



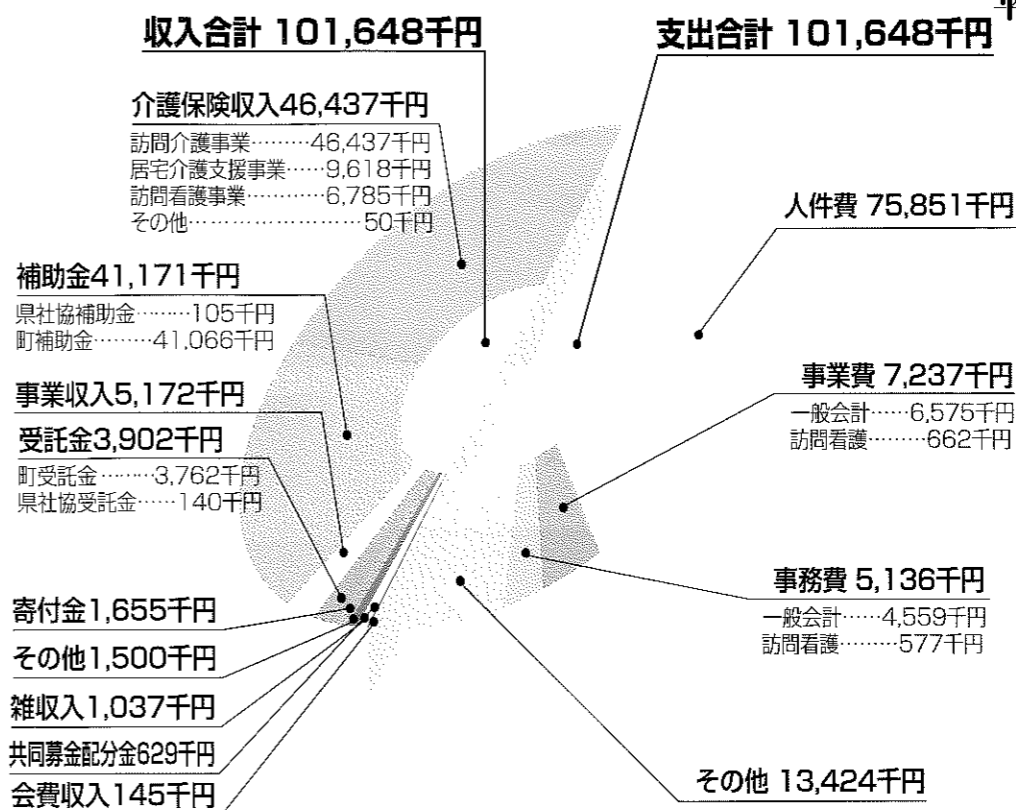
写真は、上牧町ボランティア連絡会総会の様子。

5月11日、上牧町保健福祉センター(2000年会館)2階会議室にて町ボランティア連絡会の総会が行われました。総会後には、皇學館大学の向出佳司先生をお招きし「人生・出会いー生きがい、再発見ー」と題した記念講演が行われました。

講演ではボランティアの第一歩は人と人の間づくりであり、人と人との出会いを通しての己育てであるということをお話を交えながら楽しくお話しいただきました。

平成13年度

決算報告



平成一三年度事業報告

(主なもの)

- 会務の運営
 - ①理事会・評議員会の開催 各2回
 - ②監事による監査の実施 2回
- 地域福祉の充実
 - ①小地域福祉活動の組織化と活動の支援 7地域
 - ②小地域ネットワーク連絡会及び研修会の開催 12回
- ボランティアの育成と活動の推進
 - ①ボランティア連絡協議会への支援
 - ②ボランティアグループ・推進団体への支援
 - ③ボランティア数 グループ数 : 19 個人9名 合計410名
 - ④ボランティアフェスティバルの開催 参加者:約800名
 - ⑤ボランティア保険の加入促進 加入者:509名
- 在宅福祉サービス
 - ①訪問介護事業 要6,934向11,287時間利用者70名
 - ②居宅介護支援事業 140件/1,322回
 - ③介護保険認定調査 405件
- 在宅福祉サービス
 - ①給食サービス事業 年36回 利用者:77名/1,620食
 - ②理髪サービス 利用者:15名/30回
 - ③日常生活用具の貸与 8名/12回
 - ④紙おむつの支給 75名/748回
 - ⑤身体障害者ホームヘルプサービス事業 9名/175回
 - ⑥介護講習会12回/140
 - ⑦ホームヘルパー養成講座の開催(2級) 資格取得者39名
- 啓発活動
 - ①ボランティア保険の加入促進 加入者340名

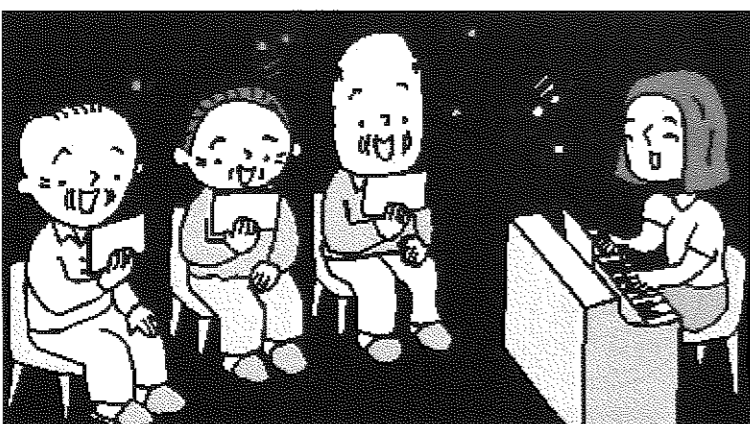
ボランティア紹介

なでしこ

代表 本岡 真

桜ヶ丘一丁目内の外出の出来にくいお年寄りを車で送迎して、一ヶ月に一回、手作りのおやつを食べたり、おしゃべりを楽しむ会をしています。平成九年に上牧町のヘルスメイトの桜ヶ丘在住のもので始め、今は他の人も加わり民生委員さんも送迎して下さっています。現在第一水曜日に桜ヶ丘公民館をお借りし、おやつは季節にあつたものを調理室で用意しています。

七〇代後半から八〇代の方々がお茶を飲みながら昔話や世間話、身体の具合のことなど、話題の提供者だったり聞き役にまわって、あいづちを打ったり、大笑いしたりの和やかな雰囲気の中で二時間です。私たちも一緒に笑ってお話を聞くのを楽しみにしています。年に時々、公園へ出かけ車イスに乗ってお花をみ



たり森林浴もしています。ただ、これだけのことでありますが月一回の集まりを待っていて下さることが私たちの励みにもなり、細くても長く続けたいと思っています。

お年寄りで加わって下さる方やボランティアの仲間も大歓迎です。お待ちしています。

ひまわり

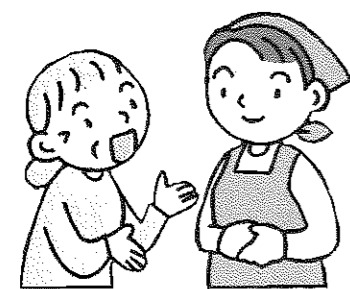
代表 岩噌 葉子

私たちひまわりは平成七年一月発足し、社会福祉法人郁慈会内郁愛苑の入苑者とデイサービスを受けている方々を対象に、喫茶のお手伝い並びにチームのメークコンサルタントによるメーク指導をしています。

平成七年一月に想像を絶するあの悲惨な阪神・淡路大震災を目の当たりにして、身近に何かできることからボランティアを始めたいと考えていたときにこの話をいただき立ち上がったわけです。

チーム員は一五名、毎週月曜日、木曜日の九時より一二時一五分まで二名ずつのローテーションを組み、入苑者の憩いの場を作り、生きる喜びと明日への希望を持っていただく様、又人生の先輩方からいろんなお話を傾聴してひとときを過ごすという活動をしています。

手足や言語などにハンディキ



ヤップを持ったお年寄りですが、私たちを待っていて下さり笑顔で「ありがとう」と喜んで下さるのがとてもうれしく心が和みます。

高齢の方々から学ぶことは多く、誰にも必ず訪れる「老い」という未知の世界、如何に上手に老いるかということなど考えさせられます。

介護の現場での介護士の方々の並々ならぬご苦労を肌で感じて頭のさがる思いです。

チーム員とは定例会を開き意見の交換や意思の疎通をはかり無理なくボランティア活動を継続していかなければならないと思っています。